

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2023 年 第 39 週（9 月 25 日～10 月 1 日）

＜全数把握対象疾患の患者情報＞

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	3 人 類型 無症状病原体保有者 3 人 血清型 O157 3 人
四類感染症 E 型肝炎	1 人 推定感染地域 国内
レジオネラ症	2 人 病型 肺炎型 2 人
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1 人 菌種 <i>Enterobacter</i> sp.
急性脳炎	1 人 病原体 不明
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 人
侵襲性肺炎球菌感染症	3 人
梅毒	11 人 病型 早期顕症Ⅰ期 6 人、 早期顕症Ⅱ期 4 人、 無症状病原体保有者 1 人
百日咳	3 人 年齢階級 10 歳代 1 人、 20 歳代 1 人、30 歳代 1 人

＜新型コロナウイルス感染症発生状況＞

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数(12.62→9.76:図1)は、前週と比較して減少した。基幹定点における入院患者の報告は37人であった。

＜定点把握対象疾患の患者情報＞

インフルエンザ(10.10→13.98:図2-1～3)の定点当たり報告数は、前週と比較し増加した。保健所別では、草加(12.42→21.26)保健所管内で前週と比較して大きく増加し、幸手(20.07)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、10歳未満の報告が大きく増加し、8歳及び7歳の報告が多い。

咽頭結膜熱(1.12→1.73:図3)の定点当たり報告数は、前週より大きく増加し、35週以降、例年と比較して多い状況が続いている。保健所別では、越谷市(3.13→5.25)保健所管内で前週と比較し大きく増加し、熊谷(3.88)保健所管内からの報告が多い。

眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎1人、流行性角結膜炎46人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎1人、インフルエンザ(入院)16人(前週10人)の報告があった。

＜新型コロナウイルス感染症の入院基幹定点サーベイランスの実施について＞

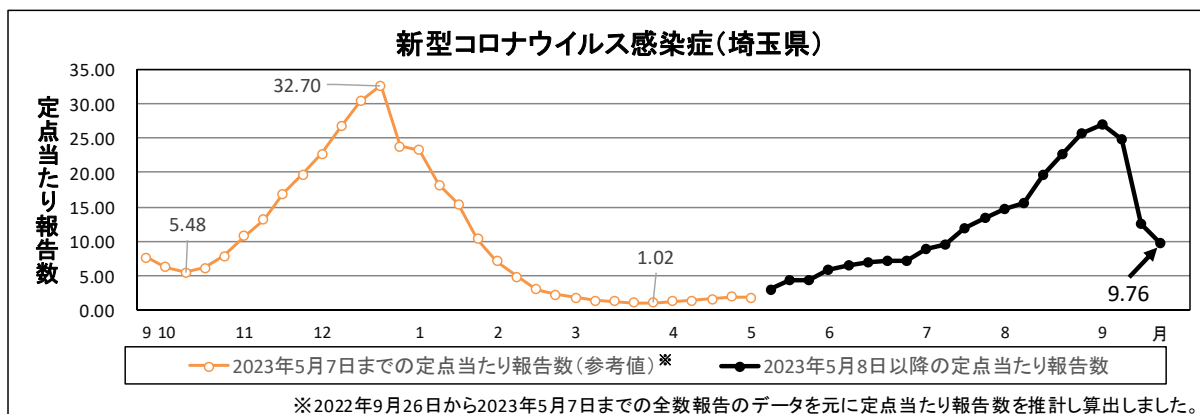
令和5年9月25日から、新型コロナウイルス感染症患者の入院者数等の発生動向を把握することを目的として、基幹定点による入院患者の報告が開始となりました。今後、入院患者の動向について、本誌に掲載します。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第39週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<インフルエンザ流行情報（第39週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図2-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

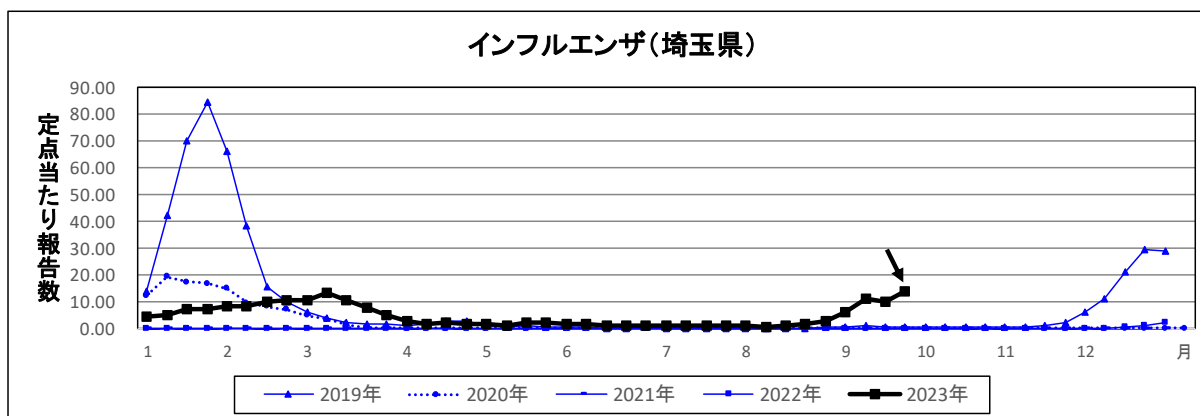


図2-2 インフルエンザの保健所別流行状況の推移（第37週～第39週）

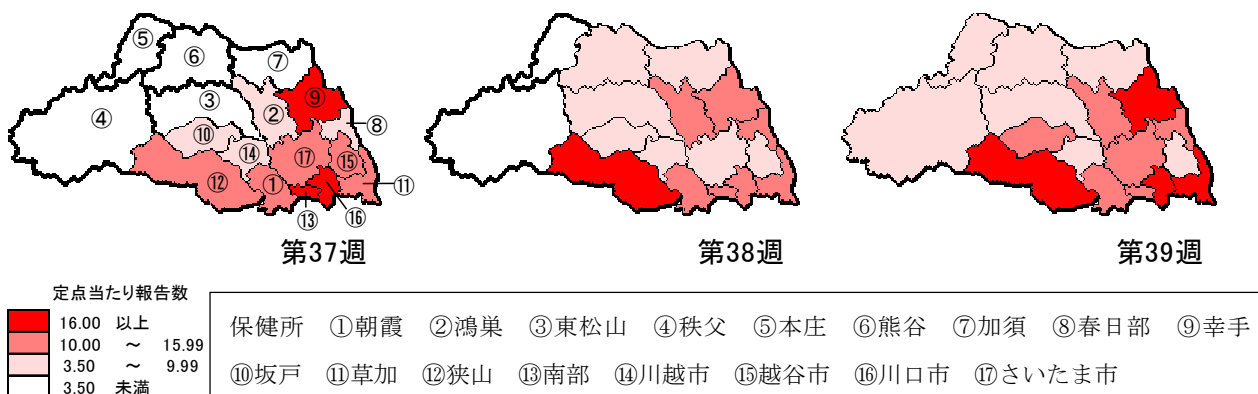
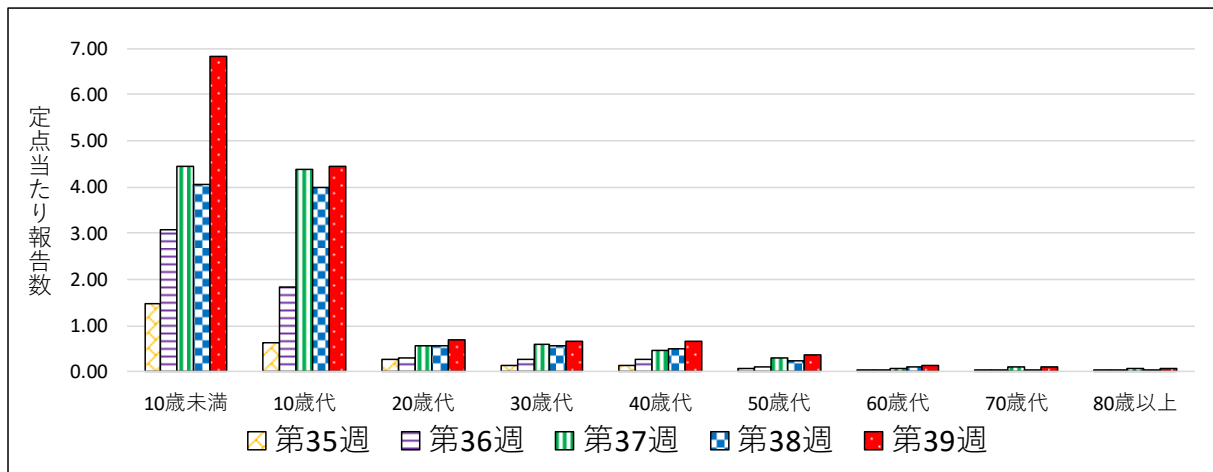
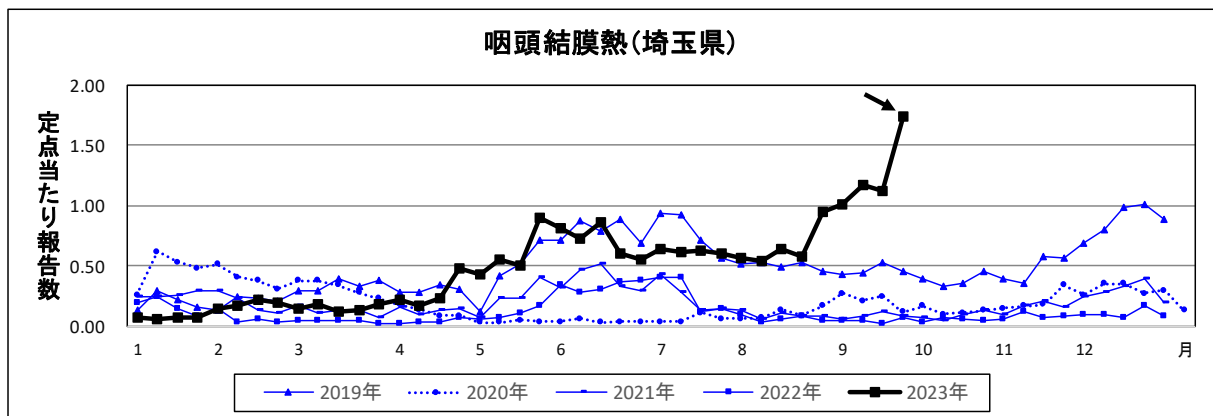


図 2-3 インフルエンザの年齢階級別定点当たり報告数の推移（第 35 週～第 39 週）



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 3 咽頭結膜熱の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第39週)

(2023年10月3日 16:30集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		6	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	3	131			
四類感染症					
E型肝炎	1	34	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
エムポックス		5	日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	79
つつが虫病		2	レプトスピラ症		
デング熱		4	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		24	侵襲性肺炎球菌感染症	3	55
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		6	水痘(入院例に限る)		10
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	47	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		5	梅毒	11	345
急性脳炎	1	29	播種性クリプトкокクス症		5
クリプトスポリジウム症			破傷風		3
クロイツフェルト・ヤコブ病		6	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		34	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群		22	百日咳	3	60
ジアルジア症		3	風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	9	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2023年第39週

9月25日～10月1日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	(入院) 感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	(入院) インフルエンザ	(入院) 新型コロナウイルス
		感染症	感染症	感染症																		
全 県	報告数 3,648	2,548	46	284	518	630	25	334	1	40	93	17	1	46	-	1	-	-	-	-	16	37
	13.98	9.76	0.28	1.73	3.16	3.84	0.15	2.04	0.01	0.24	0.57	0.10	0.02	1.10	-	0.08	-	-	-	-	1.33	3.08
朝 霞	報告数 344	239	-	15	55	67	2	36	-	7	3	4	-	5	-	-	-	-	-	-	4	5
	14.96	10.39	-	1.00	3.67	4.47	0.13	2.40	-	0.47	0.20	0.27	-	1.25	-	-	-	-	-	-	4.00	5.00
鴻 巣	報告数 281	219	23	9	51	26	2	22	-	4	2	2	-	3	*	*	*	*	*	*	*	*
	14.79	11.53	1.92	0.75	4.25	2.17	0.17	1.83	-	0.33	0.17	0.17	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数 48	60	-	-	6	5	-	9	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6.00	7.50	-	-	1.20	1.00	-	1.80	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秩 父	報告数 18	34	1	7	11	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-
	3.60	6.80	0.33	2.33	3.67	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数 34	33	-	3	1	2	-	2	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	4.86	4.71	-	0.75	0.25	0.50	-	0.50	-	-	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
熊 谷	報告数 117	112	-	31	15	20	-	24	-	1	4	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	3
	9.00	8.62	-	3.88	1.88	2.50	-	3.00	-	0.13	0.50	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-	-	3.00
加 須	報告数 72	62	1	1	-	-	3	4	-	1	4	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3
	7.20	6.20	0.17	0.17	-	-	0.50	0.67	-	0.17	0.67	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-	-	3.00
春 日 部	報告数 129	122	4	7	61	70	-	24	-	3	3	2	-	1	*	*	*	*	*	*	*	*
	12.90	12.20	0.67	1.17	10.17	11.67	-	4.00	-	0.50	0.50	0.33	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数 281	258	-	19	59	20	4	21	-	1	4	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	20.07	18.43	-	2.11	6.56	2.22	0.44	2.33	-	0.11	0.44	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数 125	124	1	2	2	31	1	12	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	4
	12.50	12.40	0.17	0.33	0.33	5.17	0.17	2.00	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.00	4.00
草 加	報告数 404	229	5	13	16	50	-	16	-	3	5	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*	*
	21.26	12.05	0.42	1.08	1.33	4.17	-	1.33	-	0.25	0.42	0.08	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数 462	329	1	40	64	50	1	24	-	1	14	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3
	18.48	13.16	0.06	2.50	4.00	3.13	0.06	1.50	-	0.06	0.88	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	3.00
南 部	報告数 126	106	4	8	37	47	-	18	-	3	12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	15.75	13.25	0.80	1.60	7.40	9.40	-	3.60	-	0.60	2.40	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
川 越 市	報告数 132	94	1	3	14	8	1	25	-	1	6	-	1	8	*	*	*	*	*	*	*	*
	9.43	6.71	0.13	0.38	1.75	1.00	0.13	3.13	-	0.13	0.75	-	0.50	4.00	*	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数 127	159	1	42	8	39	1	28	-	3	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	4
	9.77	12.23	0.13	5.25	1.00	4.88	0.13	3.50	-	0.38	0.25	0.13	-	-	-	1.00	-	-	-	-	1.00	4.00
川 口 市	報告数 365	175	3	36	76	83	1	24	-	-	17	4	-	8	-	-	-	-	-	-	2	5
	18.25	8.75	0.23	2.77	5.85	6.38	0.08	1.85	-	-	1.31	0.31	-	2.00	-	-	-	-	-	-	2.00	5.00
さいたま市	報告数 583	193	1	48	42	112	9	45	-	11	10	1	-	11	-	-	-	-	-	-	2	7
	13.56	4.49	0.04	1.71	1.50	4.00	0.32	1.61	-	0.39	0.36	0.04	-	1.22	-	-	-	-	-	-	2.00	7.00

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

10月

3日

14:15 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患) 報告患者数 年齢別 (2023年第39週 9月25日～10月1日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	3,648	6	18	69	87	153	193	228	230	271	286	238	861	296	183	175	169	100	38	31	16	
新型コロナウイルス感染症	2,548	13	26	61	34	41	41	29	37	50	48	68	327	206	210	221	275	278	216	192	175	
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	46	6	5	11	12	7	4	-	-	-	1	-	-	-	-							
咽頭結膜熱	284	1	13	37	53	43	47	43	21	10	5	3	5	-	3							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	518	-	4	16	21	42	59	67	63	67	52	33	63	4	27							
感染性胃腸炎	630	7	45	100	63	70	73	67	43	29	31	22	38	10	32							
水痘	25	-	-	4	3	1	3	4	2	1	2	2	3	-	-							
手足口病	334	1	14	75	68	49	47	36	17	11	5	6	3	-	2							
伝染性紅斑	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
突発性発しん	40	-	6	23	9	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	93	1	5	17	14	14	11	7	7	8	5	-	1	-	3							
流行性耳下腺炎	17	-	-	-	-	-	1	3	2	3	5	1	2	-	-							
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	46	-	-	1	2	1	2	2	2	2	-	-	1	2	9	9	5	3	2	3		
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1					
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	16	-	2	6	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	4					
新型コロナウイルス感染症(入院)	37	2	2	2	1	-	-	3	-	1	-	-	-	1	-	1	24					

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第37週 (9月11日～9月17日)

令和5年10月4日

<全国情報>

インフルエンザ/ COVID-19定点報告疾患: インフルエンザの定点当たり報告数は第34週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(20.85)、千葉県(14.54)、愛媛県(12.07)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は167例と前週と比較して減少した。都道府県別では36都道府県から報告があり、年齢別では0歳(5例)、1～9歳(60例)、10代(25例)、20代(3例)、30代(2例)、40代(5例)、50代(4例)、60代(5例)、70代(24例)、80歳以上(34例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は埼玉県(24.98)、千葉県(23.99)、宮城県(22.77)である。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は山形県(3.32)、福島県(1.47)、高知県(1.12)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第33週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福岡県(4.65)、大阪府(4.09)、京都府(2.95)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第34週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(3.95)、奈良県(3.71)、福岡県(3.55)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(9.06)、香川県(6.75)、熊本県(6.08)である。手足口病の定点当たり報告数は第34週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は佐賀県(5.57)、福島県(4.16)、島根県(3.74)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は高知県(0.12)、岐阜県(0.06)、沖縄県(0.06)、東京都(0.05)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は山形県(3.86)、佐賀県(2.48)、福岡県(2.25)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は新潟県(0.11)、岡山県(0.11)、兵庫県(0.10)、和歌山県(0.10)である。

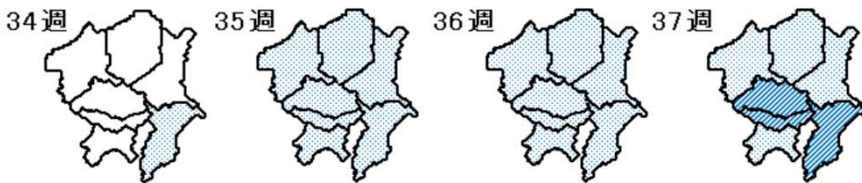
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は青森県(0.67)、石川県(0.20)、福島県(0.14)、京都府(0.14)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告は横ばいであった。2都道府県から2例報告があり、年齢別では1～4歳(1例)、70歳以上(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年 第37週(9月11日～9月17日): 通巻第25巻 第37号 より

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、千葉県(14.54)、東京都(11.37)、埼玉県(11.07)からの報告が多い。

インフルエンザ



2023年 37週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	34,665	15,107	807	279	148	2,868	2,907	4,742	3,356
	定点当たり	7.03	9.96	6.73	3.67	1.70	11.07	14.54	11.37	9.37
新型コロナウイルス感染症	報告数	86,510	30,400	2,487	1,585	1,476	6,470	4,798	6,688	6,896
	定点当たり	17.54	20.04	20.73	20.86	16.97	24.98	23.99	16.04	19.26
RSウイルス感染症	報告数	1,258	189	11	39	20	35	10	41	33
	定点当たり	0.40	0.20	0.15	0.81	0.37	0.22	0.08	0.16	0.15
咽頭結膜熱	報告数	4,539	1,237	162	29	94	190	149	426	187
	定点当たり	1.45	1.30	2.16	0.60	1.74	1.17	1.16	1.63	0.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,562	1,715	140	52	52	399	256	462	354
	定点当たり	1.77	1.80	1.87	1.08	0.96	2.46	2.00	1.76	1.57
感染性胃腸炎	報告数	10,035	3,264	206	83	200	716	457	990	612
	定点当たり	3.20	3.42	2.75	1.73	3.70	4.42	3.57	3.78	2.71
水痘	報告数	267	67	3	5	7	11	9	22	10
	定点当たり	0.09	0.07	0.04	0.10	0.13	0.07	0.07	0.08	0.04
手足口病	報告数	4,688	1,549	111	106	113	274	174	469	302
	定点当たり	1.49	1.62	1.48	2.21	2.09	1.69	1.36	1.79	1.34
伝染性紅斑	報告数	51	23	-	1	1	1	1	13	6
	定点当たり	0.02	0.02	-	0.02	0.02	0.01	0.01	0.05	0.03
突発性発しん	報告数	853	276	16	13	22	40	26	90	69
	定点当たり	0.27	0.29	0.21	0.27	0.41	0.25	0.20	0.34	0.31
ヘルパンギーナ	報告数	2,442	538	28	28	60	110	55	156	101
	定点当たり	0.78	0.56	0.37	0.58	1.11	0.68	0.43	0.60	0.45
流行性耳下腺炎	報告数	147	53	5	1	2	9	5	13	18
	定点当たり	0.05	0.06	0.07	0.02	0.04	0.06	0.04	0.05	0.08
急性出血性結膜炎	報告数	10	4	1	-	-	-	-	-	3
	定点当たり	0.01	0.02	0.06	-	-	-	-	-	0.06
流行性角結膜炎	報告数	544	228	29	8	6	31	32	38	84
	定点当たり	0.79	1.12	1.71	0.67	0.43	0.78	0.94	0.97	1.79
細菌性髄膜炎 #2	報告数	5	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	-	0.09
無菌性髄膜炎	報告数	13	2	-	-	-	1	-	-	1
	定点当たり	0.03	0.02	-	-	-	0.09	-	-	0.09
マイコプラズマ肺炎	報告数	16	4	-	-	1	1	-	1	1
	定点当たり	0.03	0.05	-	-	0.11	0.09	-	0.04	0.09
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(--0.00)

感染症発生動向調査
2023年

▶ [感染症の流行状況 2023年 第1週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第2週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第3週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第4週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第5週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第6週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第7週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第8週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第9週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第10週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第11週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第12週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第13週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第14週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第15週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第16週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第17週](#)

▶ [感染症発生動向調査 2022年](#)

▶ [感染症発生動向調査 2021年](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第18週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第19週](#)

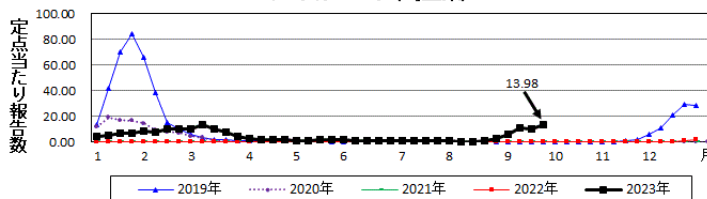
感染症の流行状況 2023年 第39週

2023年第39週（9月25日～10月1日）の要点

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加しました。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★	手足口病	↑	★★
新型コロナウイルス感染症	↓	—	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↑	★★★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	↑	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン